

輝け！シン尾花沢中

第 6 7 号

令和 8 年

7 月 6 日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

星に願いを！自分はこれから何をする？～七夕飾りの短冊から～

昇降口を入り階段を上っていくと、3年生の教室階の入口ホールの七夕飾りが目に入ってきます。

七夕は日本の五節句の一つで、織姫と彦星の伝説にちなみ、短冊に願い事を書いて竹に飾り、星空や天の川に豊作や上達などを祈る行事と言われています。



短冊に書かれた3年生の願いを読みました。

「テストの点数が伸びますように」「受験に合格して高校生になれますように」といった学習や進路に関するもの、「東北大会に行けますように」「県ベスト4にいけますように」といった部活動に関するものなど、3年生らしい内容がまず目につきました。また「毎日早起きできますように」「ちゃんと眠ることができるように」といった生活改善に関わる内容もありました。「身長があと 20 cm伸びますように」「お金がたくさん手に入りますように」と現状からの変化を願うもの、「毎日笑顔で元気に過ごせますように」「幸せに過ごせますように」といった現状が続くことを願うような内容のものもありました。

私は「努力が実りますように」が、印象に残りました。「自分はこれから願いを達成するために努力します！」という強い意志を感じたからです。

3年生のどの願いも、上の4匹の「努力がカエル」「幸せがカエル」「笑顔がカエル」「福がカエル」に関わる内容でした。

さあ、明日は「七夕」です。「どんな願いを星に託し、そのためにこれから何をするか」について、ご家庭で話題にしてみるのもいいかもしれません。

【文責：校長 工藤雅史】